



# 公明市議会ニュース

発行所：公明党川崎市議団 住所：川崎区宮本町1 TEL 044-200-3361 発行人：かわの忠正 編集人：田村しんいちろう

## 令和4年 第2回 定例会 代表質問

### コロナ禍から 市民の命と生活を守る!

3月1日、かわの忠正議員は公明党の代表質問に立ち、コロナワクチン3回目接種の早期実施が求められるなか、コロナ対策の強化をはじめ、子育て・高齢者・障がい者への支援や防災・減災対策の推進など76項目について質問しました。



かわの忠正議員

### 新型コロナウイルス感染症対策!

#### 3回目ワクチン接種体制の構築を急げ!

新型コロナウイルス感染症対策として、3回目のワクチン接種の推進と検査キットの確保や、正しい情報提供など、万全な体制構築について質問しました。

3回目の接種率は2月27日現在、全体の約2割、高齢者では約67%となっています。健康福祉局長は接種券の発送については「早期発送に取り組み、2回目接種からおおむね6カ月後に届いている。接種完了の見込みは昨年11月までに2回目接種した方には本年5月までに実施出来るよう取り組み」と答弁しました。

検査キットは「国が医薬品卸売業者に対し安定供給を要請している。医療機関等には優先的に供給する」と答弁がありました。



#### 健康観察対応と後遺症対策の強化を!

感染急拡大に伴い、自宅や宿泊療養者が激増する中、健康観察対応等の区役所・保健所・支所の体制強化と、感染後遺症に苦しむ方への対策強化を訴えました。

健康福祉局長は「健康観察の体制は、全庁的な協力のもと的確に対応し、保健・医療体制の構築を進める」さらに「3回目接種は、希望者が速やかに接種出来るよう接種券の早期発送に取り組み、大規模接種会場等の予約定員拡充等も図る」と答弁しました。

後遺症に悩む方へは「ワクチン接種コールセンターで対応し、市内21施設の医療機関で受診可能となっている。今後、医療機関と連携を図る」とことが明らかになりました。

#### 子育て支援策が充実へ!

保育と子育ての事業推進拠点となる保育・子育て総合支援センターについて、既設の川崎区、中原区の成果を踏まえ、全区への設置推進を訴えました。

今後、ランチ園での医療的ケア児の受け入れを順次実施し、保育の質向上と、地域全体で子育てを支える体制づくりに取り組むことになりました。

また、3歳児健診に弱視の早期発見のための屈折検査機器が、令和4年度に導入が示されたことから具体的な取り組みを質しました。

その結果1次検査時に使用し、従事する医師への研修を行い、令和4年度後半に開始出来るよう調整することが明らかになりました。



#### 介護人材の確保・定着へ 支援策拡充を!

団塊世代が75歳になる2025年に向け、要介護者の増加をふまえ、介護人材の確保・定着に向け処遇改善等の支援策拡充と、介護事業者への支援強化を訴えました。

健康福祉局長から「令和4年度から、介護職員の家賃補助を行い、人手不足で職員研修に送り出す事が困難な事業所に対しては、代替職員を派遣するとともに、初任者研修と実務者研修の受講料を全額補助する」「介護職員が一部の医療的ケアを行えるため、たんの吸引等研修の定員拡充も行う」と答弁がありました。



# いちばん近くで、動く、働く

## 第2回 定例会 代表質疑

### 保育士等の処遇改善を推進

令和4年2月から保育士や幼稚園教諭等の収入を3%程度引き上げる処遇改善が図られました。

これに伴い、書類作成等で現場に負担がかからない体制について質問しました。

こども未来局長は「書類の簡略化や作成マニュアルの送付など、事務負担の軽減を図る」と答弁。また、改善額や改善方法等は各事業所で判断されることから、公平公正な賃金改善が図られるように求めたところ、「適切に対応する」と答弁がありました。

今後も保育士等の処遇改善をさらに進めてまいります。



浦田だいすけ議員

### 川崎じもと応援券第3弾・就業支援

コロナ感染防止対策の影響を受けている飲食店や事業所への支援とコロナ後も継続するデジタル化促進への取り組みを質問しました。

就業支援については、コロナ離職者への一時的な支援のみならず、継続した丁寧な対応を求めました。

経済労働局長は「第3弾は、非接触で利用できる電子商品券を発行する予定であり、商店街等に専門家を派遣し、デジタルツールの活用支援に取り組む」と答弁しました。



河野ゆかり議員

## 第1回 臨時会 代表質疑

### 住民税非課税世帯等へ迅速な給付を実現!

コロナ感染症の影響で困窮を極める住民税非課税世帯等に1世帯あたり10万円の現金給付を行うにあたり、年度内の給付、家計急変世帯の照会や相談の急増に備える体制整備を強く求めました。

健康福祉局長は「3月中の出来るかぎり早

期の振り込み開始に努め、各区役所・支所に相談窓口の設置とフリーダイヤルによるコールセンター開設を進める」等と答弁しました。

順次、丁寧で、きめ細やかな対応のもと、給付が行われています。



平山こうじ議員

## お知らせ

### 不妊治療へ保険適用スタート

公明党が訴え続けてきた不妊治療への保険適用が、4月から始まりました。

- 体外受精、顕微授精、タイミング法、人工授精などの基本治療は全て保険適用され、窓口での負担額が治療費の3割となります。
- 体外受精や顕微授精は43歳未満の女性が対象。
  - ・ 回数は子ども1人につき最大6回
  - ・ 男性の年齢制限はなし
  - ・ 事実婚のカップルも対象になります



### 市立看護大学 4月に開学

公明党川崎市議団は、平成18年から市立看護短期大学の4年制化を継続して提言。4月に待望の4年制大学として新たにスタートしました。

公立大学の強みを生かした豊富な実習場所を確保し、質の高い教育環境が整備されています。今後、大学院設置も令和7年度に予定しており、さらなる環境整備を推進します。



### 多摩川スカイブリッジが開通

令和4年3月12日、川崎市殿町と羽田空港をつなぐ、多摩川スカイブリッジが開通しました。

殿町キングスカイフロントで行われている「命を守る」研究開発の進展と、国際競争力の強化が期待されます。観光客の誘致・インバウンド誘客の促進や、新たな初日の出スポットとしても注目されています。

